

第2節 現況と将来予測

1. 現 況

本県における騒音は、都市部における工場・事業場騒音、仙台空港及び松島飛行場周辺における航空機騒音、道路沿線における自動車騒音など発生音量の大きい発生源によるものと、近隣騒音など比較的発生音量の小さい発生源によるものとに分類できる。

発生音量の大きい発生源に関する対策としては、公害対策基本法に基づく環境基準の類型指定（24市町村）、騒音規制法に基づく地域指定（24市町村）及び県公害防止条例によって発生音量の低減に努めている。しかしながら、自動車交通騒音の環境基準に対する適合状況は低く、また、仙台空港及び松島飛行場周辺における航空機騒音の測定では、現状において環境基準を超過している地点もある。

地域における環境騒音の現況については、各種の騒音発生源の集中している仙台市、石巻市のほか、両市周辺部の騒音規制法による指定13市町（仙台市、石巻市、塩竈市、名取市、多賀城市、泉市、岩沼市、利府町、七ヶ浜町、松島町、矢本町、鳴瀬町及び女川町）において、環境騒音の実態調査及び環境騒音の影響に対する住民の意識調査を実施し、これらの結果に基づき、住民の意識調査結果が反映でき、音量の評価が面的かつ数量的に評価できる等価騒音レベル（以下「Leq」という。）により、県全域にわたる環境騒音の現況推計を行った。

環境騒音の実態調査結果によると、環境騒音の時間帯別平均騒音レベルは、朝が59.9 dB（A）（以下「dB」という。）と最も高く、次いで昼間58.9 dB、夕方53.2 dB、夜間50.4 dBであり、全体の平均騒音レベルは57.5 dBとなっている。

地点状況別の平均騒音レベルは、路上（歩道上）で67.3 dBと高く、車線別でみると、道路に面する地点では車線数の増加とともに高くなり、6車線で72.3 dBを示し、また、用途地域別の平均騒音レベルは住居地域が低く、商工業地域が高くなっている。

用途地域の区分	
第1種住居専	
第2種	“
住居地	
近隣商業	
商業	
準工業	
工業	
工業専用	
その他	

影響項目	評価 反応割合
全体としてのうるささ	
テレビ、ラジオの聴取妨害	
電話の聴取妨害	
会話妨害	
イライラ・腹だち	
耳鳴り、耳痛	

環境基準の時間帯区分	種
朝方6:00～8:00	
昼間8:00～19:00	
夕方19:00～22:00	
夜間22:00～6:00	
全体	